

2022-23

APRIL, 2023

かかない、いかない？ vol.2

- 社会実験「みっけるみなぶん2」
- 社会実験「大通り公園に、よりみちしよう。」
- 関内えきちか広場活用イベント
- KAN-KAN SQUARE PROJECT2022
- 関内えきちか未来PJ エリアマネジメント勉強会

PUBLIC RELATIONS MAGAZINE

KANNAI EKI CHIKA MIRAI PROJECT





みんなで まちをたのしもう。

変わりゆくまちの中で

屋外でも居心地良く過ごしたい

ちょっとよりみちして楽しめる場所があったらいいな

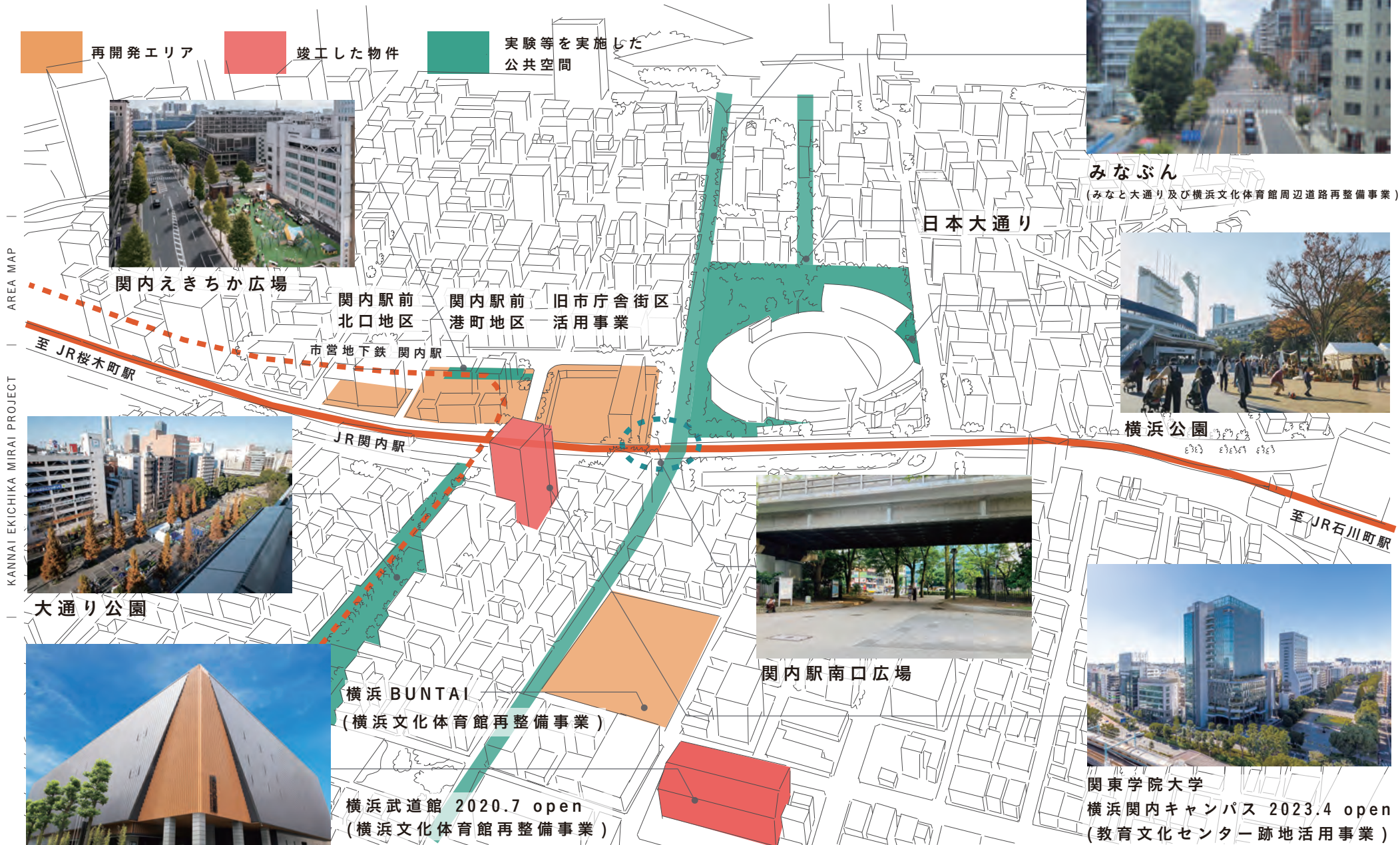
関内駅近くの駅前広場・公園・道路・・・etc

まちなかで楽しめる居場所づくり

一緒に考えてみませんか。

関内・関外をつなぐ公共空間のこれから

—— 関内駅の周りにある公共空間を官民で連携して実際に使いながら、より良い都市空間を創出していくための議論をしています。





社会実験「みっけるみなぶん2」
2022.9.26(mon) - 継続中



通りたくなる

高架下・駅前広場を

一緒に考える



関内・関外の回遊性向上に向けて、“みなぶん”では道路空間の再構築や沿道と歩道を一体的に使うことにより、賑わいと魅力ある道路空間の創出に向けた検討を行っています。今年度は関内駅南口の歩道空間をどのような場にしたら良いか沿道事業者とワークショップを行い、そこで出たアイデアからオリジナルの屋外家具を設置してひと休みするなどの滞留できるスペースを設け、沿道事業者と連携したイベントを実施しました。

道路空間を使って
色々試してみる



木陰で休んだり、
ちょっとおしゃべりしたり



アウトドア
ミーティングの場所に



日常的な憩いの場

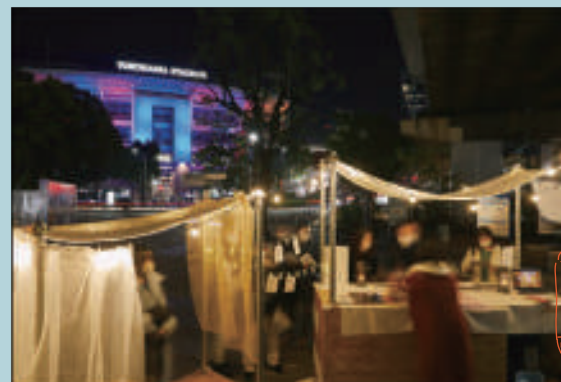
よりみちして楽しめる高架下空間



ランチしたり
ストリートで
演奏してみたり



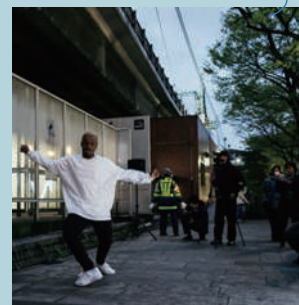
夜の高架下での
楽しみをみつける！



帰り道に寄り道できる
雰囲気のある高架下



通りがかりに
ストリートダンス
に出会う！



みつける
みなぶん ②

コンテンツ企画協力：
第1段イベント 2022.10.22-23 関東学院大学/株式会社電通/株式会社GRACE
第2段イベント 2022.12.5-11 株式会社ディー・エヌ・エー/株式会社横浜スタジアム
番外企画 2023.3.25 オンデザイン/DanceBaseYokohama/一般社団法人ソトノバ/株式会社横浜スタジアム



社会実験「大通り公園に、よりみちしよう。」
2022.12.9(fri)-12.10(sat)



帰り道にちょっと
お買い物！



星空を眺めたり
光るアイテムで
遊んでみたり



夜の公園のあり方を

夜の公園で
ものづくりをしてみる



考えてみる

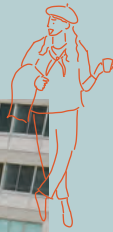


夜の公園のあり方を考える社会実験を行いました。クリスマスイメージした空間を創出し、近隣店舗による飲食出店や関東学院大学によるものづくり、天体観測など親子向けのワークショップを行いました。また、8区では20基以上の「絵どうろう」を展示し、普段の公園とは違った幻想的な空間が作り出され、2日間とも子どもから大人まで多くの方にご来場いただきました。



まちなかの活用実験

— 関内えきちか広場にて



まちなかでウェルビーイングを

体感してみる



ヨコハマモルック フェスティバル2023

2023.1.28-29

2日間にわたり「ヨコハマモルックフェスティバル」を開催しました。誰でも参加できて楽しめるフィンランドのスポーツ「モルック」の大会や体験会、廃材を活用したものづくりワークショップなどを通じて、関内のまちに賑わいを作り出しました。



まちなかでスポーツを楽しんだり、
親子で滞在できる居場所づくり



焚き火を囲んで
ゆっくり語る夜



KANNAI PLAY PARK

2023.2.23

biima sports parents（親子参加型の子供の運動能力向上プログラム）、CHIMERA UnionによるBMX・ランバイク・スラックライン・ICONの体験、ハンドドリップコーヒー体験を行い、親子で楽しめるKANNAI PLAY PARKを開催しました。沢山の親子にご参加いただけました！



ハマウエル 2022.12.1-2

ウェルビーイング度を測定するコーナーや、ポッチャ体験・テントやキャンピングカーの屋外ワークスペース・3Dプリンターで制作したサウナ、ハンモックで揺られたり、焚き火を囲んだりするスペースを設けるなど朝から夜までウェルビーイングを体感できる広場になりました！



コーヒーを飲みながら
焚き火を眺めながら屋外ワーク



NEW!

KAN-KAN SQUARE PROJECT 2022

2022.12.3-12.25 日本大通り・横浜公園・横浜スタジアム・旧市庁舎街区仮囲い・関東学院大学・大通り公園

KANNAI EKICHIKA MIRAI PROJECT | SOCIAL EXPERIMENT



関内・関外のナイトタイムの
まちなかを楽しむ

KAN-KAN SQUARE PROJECTとは？

関内駅の東側「関内」と西側「関外」(= \langle KAN-KAN \rangle)を、一体の空間(= \langle SQUARE \rangle)として、これから再開発事業などで生まれ変わっていく関内駅周辺エリアの魅力を高め、賑わいを創出することを目的としたプロジェクトです。

今年度は、日本大通り・横浜公園・横浜スタジアム・旧市庁舎街区仮囲い・関東学院大学公開空地・大通り公園を使って、同時期に横浜市とのイベントともコラボし、まちなかを歩いて楽しめるイルミネーションを中心に実施しました。



ライトアップ&
ストリートで演奏会!



夜に歩いて楽しめる
仕掛けをつくる



横浜市旧市庁舎仮囲いアート/ ライトアップ

JR関内駅南口では、「横浜市旧市庁舎街区活用事業」が2022年7月より着工しています。この仮囲いを活用し、「IKKI」KOMESENNIN×KACのユニットによるアート掲示とライトアップを行いました。



関東学院大学クリスマス・ イルミネーション

横浜・関内キャンパス前の大きなクリスマスツリーを中心としたイルミネーションと、学生が製作したオブジェやイルミネーションで大学エントランスから公園まで華やかにクリスマスを演出しました。



「teraski」

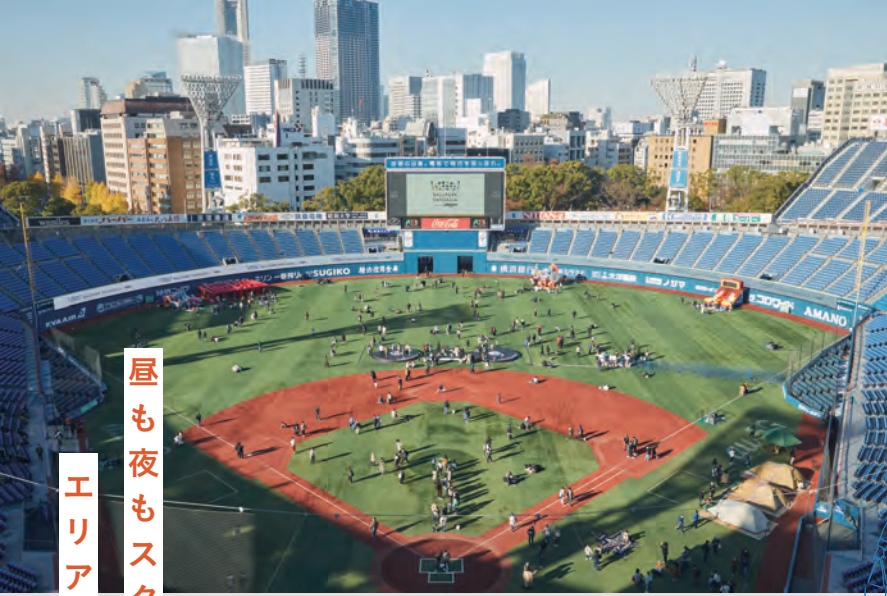
制作：関東学院大学
建築・環境学部酒谷研究室



主催：KAN-KAN SQUARE PROJECT 実行委員会2022

(株式会社ディー・エヌ・エー, 株式会社横浜スタジアム, 三井不動産株式会社(横浜市旧市庁舎街区活用事業事業者代表企業), 関東学院大学, 日本大通り活性化委員会) 共催：横浜市都市整備局





エリアを活かしたまちづくりにも挑戦

昼も夜もスタジアムでもまちなかでも



芝生に寝っ転がったり
スタジアムで思い思いに過ごす

気がつくとホームベースが
撮影スポットに!



番外企画

dance for future street

— DaBYまちを踊る

みっけるみなぶん2とスタジアムの回遊デッキにて、世界的に有名ナリル・バックをはじめ、DanceBase Yokohama(DaBY)のダンサーたちによるパフォーマンスやワークショップを実施しました。



スタジアムの通路を

パフォーマンスの場所として使ってみる



2023.3.25(sat)



スタジアムの形状を活かした
パフォーマンス!

通りがかりの人も
巻き込まれてのダンス!



第3回「BALLPARK FANTASIA supported by Billboard Live YOKOHAMA」

プロ野球のオフシーズンの施設・公園の活用および将来的な関内・関外エリアの賑わいづくりの起点となることを目指し、2020年からスタートした取り組みです。今年度は、KAN-KAN SQUARE PROJECT2022の一環で、「光と音楽」をテーマに昼も夜も楽しめるコンテンツを充実させ、一日を通して楽しめるエンターテインメント空間を作り出しました。



関内えきちか未来プロジェクト エリアマネジメント勉強会

2022.8.5.(fri)

第1回「エリアマネジメント組織と活動」 -札幌大通地区の事例より
講師：服部 彰治氏 (札幌大通りまちづくり株式会社)



服部 彰治氏

2022.8.23.(tue)

第2回「エリアマネジメントの実践と賑わい形成」
-池袋グリーン大通りの事例より 講師：青木 純氏 (株式会社 nest代表取締役)



青木 純氏

2022.10.3.(fri)

第3回「エリアマネジメントによる賑わいと景観調整」
講師：角 揚一郎氏 (一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント/東急株式会社)



角 揚一郎氏

2022.10.27.(thu)

ワークショップ「関内駅周辺のエリマネ活動の方向性を考える」

2023.2.2(thu)

第4回「エリマネの現状と、えきちかエリマネ活動の方向性」



桂 有生氏

2023.3.24.(fri)

第5回「関内の地域特性と、えきちかエリマネ活動の方向性」
講師：桂 有生氏 (横浜市役所 都市デザイン室)

エリマネの方向性を考える

今年度は関内駅周辺地区の賑わいを継続的に創出するとともに、官民が連携して公共空間を活用していくにあたり、**エリアマネジメントの知見をそろえ、今後の方向性を共有するための勉強会やワークショップ**を実施しました。

講師からは基本的なエリアマネジメントの考え方や継続した賑わいづくり、広告収入についてなど他都市の事例をご紹介いただき、質疑応答などを通して、知見を深めました。

勉強会・ワークショップ・実施した社会実験の成果報告会や振り返りを踏まえて、それぞれの地区の特性に応じた方向性を定めていく必要があることから、**エリアマネジメントのビジョンの重要性**が挙げられました。

これから関内エリアを
継続的に盛り上げるには
どうしていくと良いのか・・・



他都市では
どのような事例があるのか・・・



株式会社 横浜スタジアム

三井不動産株式会社

関東学院大学

横浜市スポーツ協会

株式会社 電通

三菱地所株式会社



関内えきちか未来プロジェクトとは・・・

関内駅周辺エリアにおいて、新たに創出される公共空間や既存の公共空間も含めて、このエリアに関わる方々が思い描く「これからの関内駅前のパブリックスペースの”使い方”」を実践しながら、より良い都市空間を創出するための議論をしていくプロジェクトです。

関内えきちか 未来プロジェクト

横浜市 公共空間の活性化について

これまでの取り組みは
こちらから



主催 横浜市都市整備局都心再生課
企画・運営受託者 オンデザイン

かんない、いかない? vol.2

〈編集・イラスト〉 オンデザイン ©Haruka Nakamura

〈写真〉 「大通り公園に、よしみちしよう。」 「みっけるみなぶん2」 「ハマウエル」

「BALLPARKFANTASIA -昼の部」 ©Koji Tsuchiya

「大通り公園に、よしみちしよう」 (絵どうろう・旧市庁舎仮囲いアート) ©Hiroshi Teshima

「BALLPARK FANTASIA -夜の部」 写真提供：株式会社ディー・エヌ・エー

「関東学院大学イルミネーション」 写真提供：関東学院大学

「ヨコハマモルックフェスティバル2023」 写真提供：公益財団法人横浜市スポーツ協会

「KANNAI PLAY PARK」 写真提供：三菱地所株式会社

「dance for future street -DaBYまちを踊る」 ©Yulia Skogoreva 写真提供：Dance Base Yokohama